

2 住宅改修の事例

事例1

【生活者の要望】

歩行が不安定になっているので、段差の解消や出入口の配慮をしたい。

【現状の問題点】

- ・トイレ、洗面・脱衣室、浴室が寝室から遠く、移動が困難
- ・トイレの通行幅員が狭く、出入りが困難
- ・浴室の出入口段差が大きく、出入りが困難

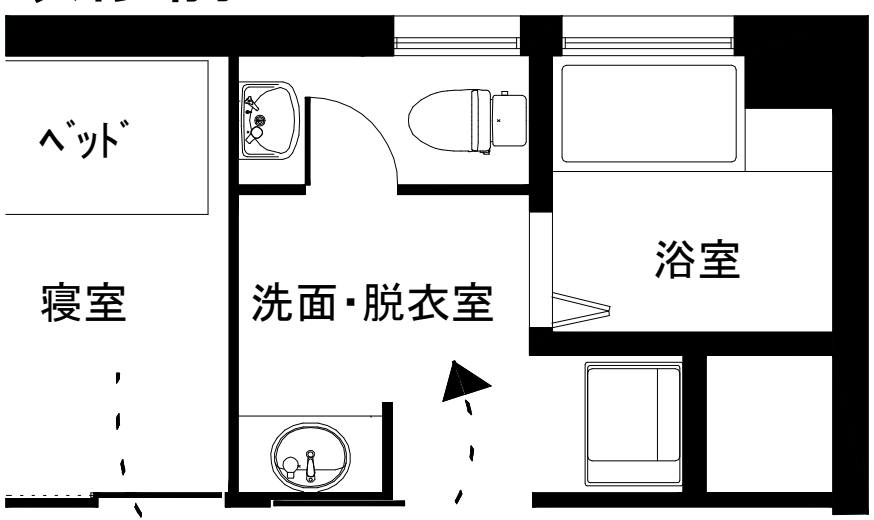
事例1 改修プラン

トイレのドア撤去・
アコーディオンドア設置

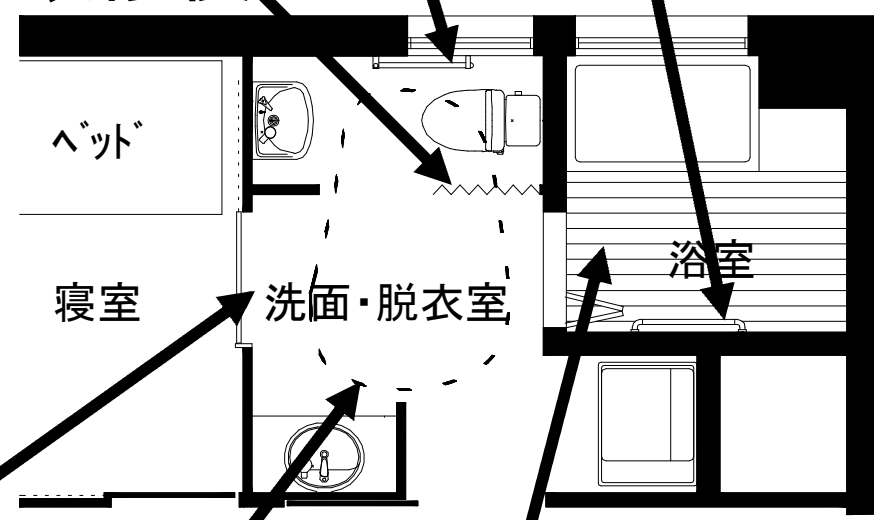
L型手すり設置

横手すり設置

改修前



改修後



寝室から
遠い

壁撤去、引き戸設置

すのこによる出入口
段差の解消

洗面・脱衣室をトイレとワルーム化
→介助スペース確保

事例2

【生活者の要望】

歩行は可能であるが、安定した姿勢で入浴できるように、腰かけて出入りできる浴槽にしたい。また、浴室出入り口の段差をなくしたい。

【現状の問題点】

- ・和式浴槽が狭く、深いため、姿勢が窮屈。
浴槽縁高さが高く、またぎ越しが困難。
- ・浴室の出入り段差が大きくて出入りが困難。

事例2 改修プラン

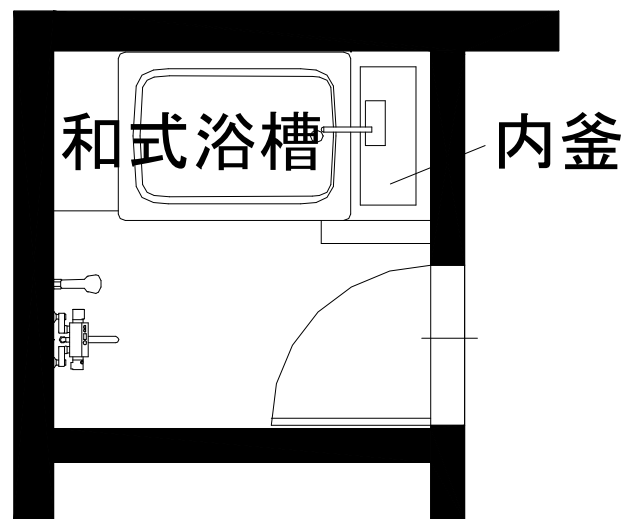
浴槽出入りを容易にする足台を設置

風呂釜を屋外に移動

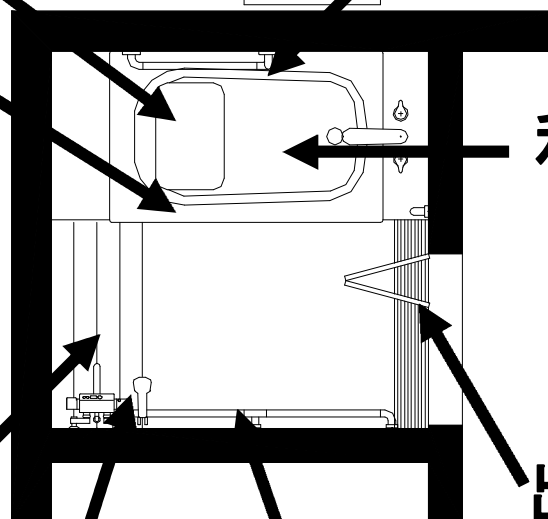
立ち座り用L型手すり設置

改修前

改修後



またぎ越しやすく、腰かけて入りやすい浴槽縁高さ



和洋折衷式浴槽に変更

出入口段差を解消し開口幅員を大きくする

浴槽と同じ高さの移乗台設置

移乗台の近くにシャワー設置

移乗台まで移動用の手すり設置

事例3

【生活者の要望】

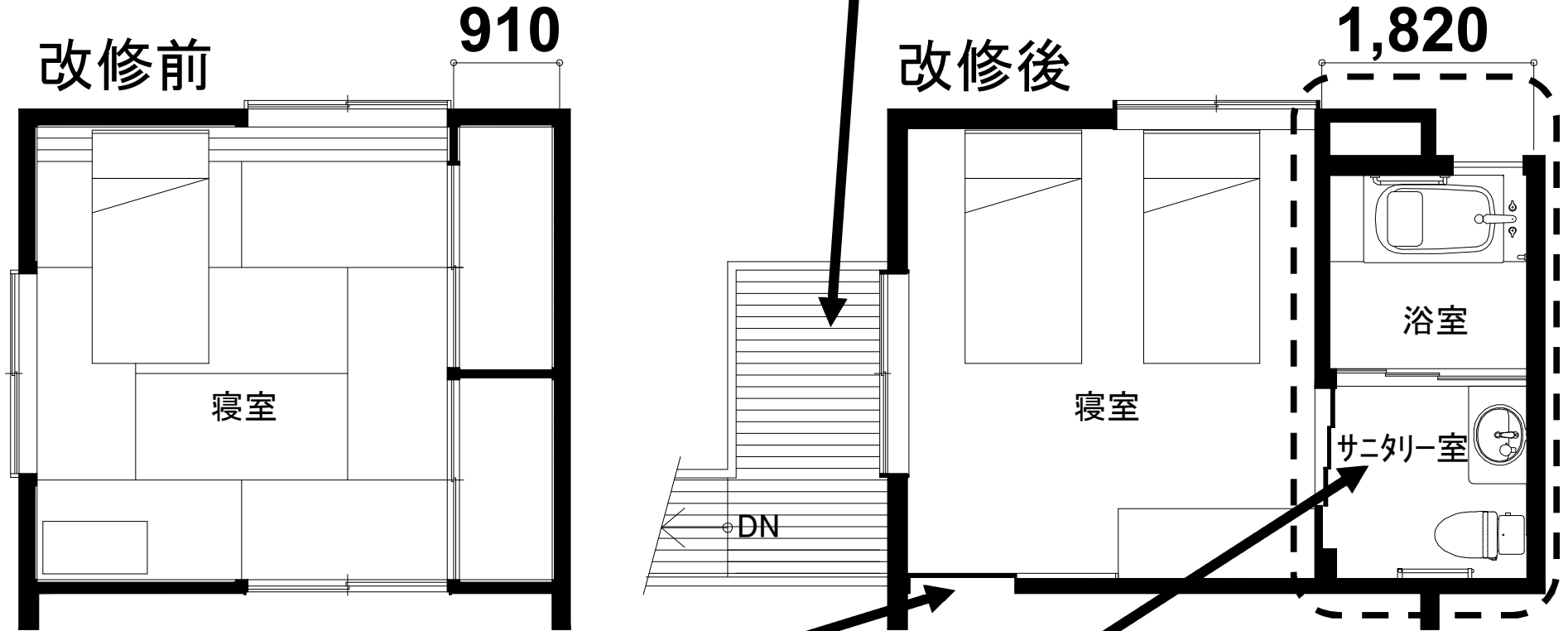
身体機能の低下により、車いすを使用。そのために寝室回りを使いやすくしたい。専用のトイレが欲しい。また、車いすで庭に出られるようにしたい。

【現状の問題点】

- ・トイレや浴室が寝室から遠く利用できない
- ・寝室が和室のため車いすの利用に適していない
- ・掃き出し窓から庭へ出られない

事例3 改修プラン

庭に出られるようにデッキを設ける。さらにスロープを設ける



寝室を洋室化し、
出入口の幅を広げ、
段差を解消

既存の押入を増改築して、
トイレ・洗面・脱衣室（サニタリー室）、
浴室を設けた